

第28代特科団長兼ねて第26代北千歳駐屯地司令

安部隆志陸将補着任



統率方針

「歴史と伝統の継承」

「改革の断行」

要望事項

「原点に返れ」

「戦士たれ」

駐屯地司令要望事項

『規律厳正にして明るく爽やかな駐屯地の育成』

『地域市民との一層の信頼感の醸成』

きたちとせ



発行者
北千歳OB会
代表 武内三生

編集
第1特科団
第1科・広報班

印刷
フロンティア印刷

時折強風が吹く中、着任の辞を述べる安部駐屯地司令

歴代特科団長及び諸先輩が築いてこられた良き歴史と伝統をしっかりと継承する一方で、自衛隊としての本来あるべき姿及び時代の

先ず統率方針であるが、得田方面総監の統率方針である『歴史と伝統の継承』『改革の断行』を自らの統率方針とする。

着任に当たり、私の統率方針と要望事項を申し述べる。

野戦特科の幹部として第一特科団を指揮できることは、この上ない光栄であると共にその職責の重さを痛感しているところでもある。

第二十八代第一特科団長を拝命した安部陸将補である。本日、平成十七年七月二十八日から第一特科団の指揮を執る。

着任の辞



第一特科団長
兼北千歳駐屯地司令
陸将補 安部隆志

平成十七年七月二十八日

以上、着任に当たり統率方針と要望事項を申し述べたが、全隊員が私の意図を十分に理解し、具現するよう期待し着任の辞とする。

己研鑽に努めよ。

野外での戦闘行動をもって任務を達成するものである。このためには各人はそれぞれの役割に必ず戦技・気力・体力を常に維持しなければならぬ。自衛官不適とならぬように心して自己研鑽に努めよ。

次に、要望事項であるが、特科団の連・群長から班長・組長に至るまで職務を計画・遂行するに当たり『原点に返れ』と言うことを要望する。原点とは、自衛隊の任務であり、あるいは実施しようとするものの目的である。任務・目的をしっかりと見極め、それをもっとも効果的に達成すべく、知恵を絞る、あらゆる努力を傾注せよ。

全隊員に対しては、『戦士たれ』と言うことを要望する。自衛官は原点に返れば野外での戦闘行動をもって任務を達成するものである。このためには各人はそれぞれの役割に必ず戦技・気力・体力を常に維持しなければならぬ。自衛官不適とならぬように心して自己研鑽に努めよ。

変化に伴う自衛隊への要求に適切に対応できていない部分については断固改革を推進していく所存である。

お疲れ様でした！
そしてありがとうございます！
山崎団長！



山崎文夫陸将補は、平成十四年十二月、第二十七代特科団長兼ねて第二十五代北千歳駐屯地司令として着任され、『山吹の指標たれ』

「信頼・明朗・積極」を要望事項とし、「戦技競技会のあり方」「訓練SOPのあり方」「冬季訓練のあり方」「歴史と伝統のあり方」等々、「形式主義、マンネリ化の排除」を指導・徹底し意識改革を図り、厳しさの中にも人情味豊かで温厚・誠実な人柄と優れた指導力をもって、士気高く、団結強固な精鋭第一特科団の練成に尽力されました。

この間、方面計画である方面特科情報訓練、陸幕計画である指揮所訓練センター訓練(F-AIIC E)を担当実施し、方面隊内特科部隊の砲迫目標情報処理能力及び火力戦闘能力の向上並びに地対艦ミサイル運用研究を実施して団地対艦ミサイル作戦規定を概成する等、部隊訓練における山吹の指標を示されました。

また、駐屯地司令として、連帯感・一体感の醸成、生活環境の改善及び駐屯地の美化・緑化に関する施策を推進し「規律厳正にして明るく爽やかな駐屯地の育成」を図るとともに、駐屯地行事の積極的な広報及び部外行事等への積極的参加を通じて「地域市民との一層の信頼感の醸成」に努める等、防衛基盤の育成に大いに貢献されました。

御退官後は、埼玉県富士見市の「自宅に住まれコマツ製作所株式会社特機事業本部」に勤務されます。

山崎陸将補の三十有余年の自衛隊勤務に敬意を表するとともに、今後益々の御活躍並びに御家族共々の御健勝を心よりご祈念申し上げます。

新着任部隊長紹介



第13代
第71戦車連隊長
1等陸佐
徳田 秀久

この度、第七十一戦車連隊長を拝命致しました徳田一佐です。第七師団での勤務として千歳市での生活は二度目で、六年ぶりとなります。

以前は一年半しか勤務できませんでしたが、その優秀な隊員と装備、恵まれた訓練環境、そして素晴らしい生活環境に感銘し、再びこの地で勤務したいと思っております。今回希望が叶い、また初級幹部時代、頃から勤務することが夢であった部隊で、指揮官として勤務することができ、まさに光栄の至りであります。部隊での勤務はもちろんのこと、地元千歳市をはじめ伊達市、登別市、室蘭市、虻田町、白老町、壮瞥町、豊浦町、大滝村、洞爺村の方々とお会いできる機会も楽しみであります。

精強第七十一戦車連隊は、一人一人の隊員と諸先輩方の日夜絶やまぬ精進と練成により育成されてきましたが、私もこの良き伝統を継承し、隊務の大小全てにわたり隊員一人一人が自らの意欲と創意を持って職務に取り組むことができるよう全力を尽くしたいと思っております。師団長始め皆様方の指導並びに関係地域の方々のご支援・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



第4代
第101特科直接支援大隊長
2等陸佐
岡田 光茂

この度の定期異動で第四代第一〇一特科直接支援大隊長として着任致した岡田二佐です。北海道の勤務は、二度目であり懐かしきもありますが、二十五年振りであり、心新たに勤務する所存であります。

大隊は、新たな後方支援体制の産声とともに既に今年で約五年の歳月が経過しております。これまで歴代の大隊長と同様に第一特科団の任務遂行に支障の無いよう努力して行く所存であります。

出身は静岡県の中南部に位置する相良町で、家族を神奈川県に残して単身で来ました。趣味は、歴史、戦史に関する本の読書、史跡巡りと美術工芸品の鑑賞であり、博物館、美術館にも足を運ぶことがあります。北千歳駐屯地の皆様、宜しく願います。

徳田連隊長プロフィール

徳田秀久 (とくだ ひでひさ)

期別：#83B (防大27期)

昭和35年4月生まれ 神奈川県出身

家族：奥様、娘さん二人

主要部隊歴

昭和58年3月 入 隊

59年3月 第10戦3中 小隊長

61年3月 防大付 理工学研究科学生

63年3月 戦車教導隊 小隊長 運用訓練幹部

平成 7年3月 陸幕人事部 人事1班補任担当

10年3月 第7偵察隊長

14年8月 幹部学校教官

17年4月 研究本部 第4研究課研究員

17年7月28日付 第71戦車連隊長



第25代
第103特科大隊長
3等陸佐
福岡 六美

「伝統の継承」

第一〇三特科大隊も創隊五十三周年を迎え、この間、大隊精強化のために御尽力された諸先輩方々の流した汗と努力に敬意を払うとともに、諸先輩の築かれたこの良き伝統及び気風を次の世代へとしっかりと受け継ぐことが私の役割だと認識しております。

さて、一〇三特科大隊の良き伝統・気風とは何でしょう。

一つめは、隊員全員がものごとくに愚直に、最後まで取り組む姿勢をもっているということであります。

二つめは、隊員全員が自分の特科戦技に対する自負心(プライド)をもっていることでもあります。

三つ目は、OBを大切にする組織であるということです。

私は、今後もこの良き伝統・気風をしっかりと受け継いでいけるよう努力する所存であります。

「改革の模索」

環境の変化に対応できない組織は、淘汰される運命にあると言われますが、我が一〇三特科大隊も時代の変化に対応すべく改革を模索中であります。今のままの訓練等のやり方で良いのか、それとも訓練等のやり方を変える必要があるのか、いずれにせよ時代の要請に適合した訓練を模索し、実際の運用に耐えられる大隊をつくるのが、重要であると考えております。

結言

あらためて我が大隊は、素晴らしい隊員で組織された大隊であります。「伝統の継承」と「改革の模索」を合い言葉に第一〇三特科大隊が更に精強になるよう努力する所存であります。

満員御礼

総入場者数2600人 今年もやっぱり 北部隊！

北部隊夏まつり

北千歳駐屯地(司令安部隆志陸将補)は、八月四日夜、北部隊夏まつりを実施した。当初予定されていた三日は雨のため四日に順延となり前日とは打って変わって晴れ渡る夏空の下、盛大に開催された。雨上がりの猛暑で湿度の高い夜ではあったが、約二千六百人の市民と共に楽しい夏の夜を満喫することができた。

夏まつりは、市民や家族と一緒に楽しめるように四部構成となっており「北海盆踊り」と「よさこいソーラン」を交互に実施した。第一特科団音楽隊によるバレード及び演奏を皮切りに第一部で



晴天に恵まれた北部隊夏まつり

大賑わいのレインボー通りの模擬売店



は、北海盆踊りを市内の民謡クラブ「翔声会」の音頭に合わせて、来賓、舞踊同好会「毎床会」、防衛協会女性部、隊員家族も一緒に参加し、踊りの輪を広げた。

部隊対抗では、千歳地方防衛協会会長で千歳市長の山口幸太郎氏をはじめ十五名の厳正な審査の結果、テクニカル部門に業務隊&三〇二高射中隊&会計隊チーム、パフォーマンス部門に七十一戦車連隊&一戦直支中隊チームそして仮装部門に団本中&観測中隊チームがそれぞれ受賞した。

第二部では、「よさこい舞」が行われ、部外招

へいチーム「炎」「蒼天爛華」の二チームがレベルの高い踊りで観客・隊員を魅了し盛んな拍手が送られた。その後、盛り上がった会場は隊員や家族、訪れた市民が一体となって踊りを繰り広げ、フィナーレでは「輪踊り・ドッコイショ」の大乱舞で北海道の短い夏の夜を楽しんだ。

この他、会場周辺の模擬売店では長蛇の列となり、各店舗は完売の声が上がった。また、今年で三度目の曹友会主催の「お化け屋敷」も好評で子供たちに大人気であった。レインボー通りには今年もまた仙台から取り寄せた豪華な七夕飾りが風流な駐屯地を演出した。

こうして北部隊夏まつりは、大盛会のうちに幕を閉じた。



集まれ！曹友会が花火のプレゼント！



輪踊りで子供たちは大はしゃぎ！



お化け屋敷を楽しむ親子



駐屯地司令も負けられません！

特集

第一特科団音楽隊



第一特科団音楽隊は、第十三代隊長・傳野二曹率いる総員二十一名で編成されている。昭和三十七年二月に発足し今年で四十三年が経ち、まさに駐屯地の歴史と伝統を音楽で支えている。変わりゆく時代の流れに翻弄されることなく頑なにその存在を誇示し続ける音楽隊。今回は、その素顔に触れてみたい。

団本部中隊主力として

普段の音楽隊は、第一特科団本部中隊の中にあって、通信小隊と並んで中隊の主力となり中隊訓練や団内各部隊訓練検閲支援をはじめ各種作業に参加している。主たる任務は音楽演奏に非ず、戦闘戦技の発揮にある。メンバーのほとんどが主特技通信ということで八月十一日に実施された通信小隊検閲にも参加し、通信小隊の隊員と肩を並べて受閲し、

優秀な成果を収め、その練度の維持・向上を確認した。彼らは、野戦特科き章を付けた音楽隊である。しかし、ひとつの演奏に著替るとその汗や泥臭さは一掃される。そして、華麗なる演奏で聴く人を魅了する。

時間管理の達人

音楽隊に「待った」は許されない。どんなに訓練や作業に参加しても、残余の時間を有効に活用し、各人の演奏技量を向上させなければならない。時間は容赦なく流れていく。その流れを自分のものにして、最大限活用することによりひとつの演奏支援等を成功させるという目的を達成させる。演奏支援の日時が迫っているときは、部隊訓練や行事も同様に詰まっていたときでも、それを克服している音楽隊は時間の大切さを一番知っている部隊ではないだろう。

濃密なる課業外

課業外、遅くまで明かりが灯るカマボコ隊舎。防音処置が施された施設で各々練習に打ち込む。それぞれの楽器が持ち味の音色を出し合う。この時間こそが各人の演奏技量向上につながっている。メンバーの中には、街の教室に通ったり、バンドメンバーとして活躍したりと余暇を活用するものもある。その経験や学んだ事項については、須く音楽隊に還元される。



検閲状況終了後の音楽隊メンバー

各人の納得のいく演奏は、音楽隊として素晴らしい。ハーモニを奏でる。時々の間の制約があるからこそ彼らの前には濃密なる課業外が待っているのだ。

プロ職人として

彼らは、ほとんど自前の楽器を使用している。第一特科団音楽隊の看板を背負って人前に出る以上、市民はプロとして、等しく自衛隊の音楽隊として鑑賞する。自前の楽器で自分にとって最高の音を出すことは職人の心意気である。方面や師団の音楽隊とレベルの差があつてはならないのだ。そのプレッシャーをバネにして彼らは、市民の前で威風堂々とパレードをし、演奏する。クラリネット奏者で歌唱でも活躍する高田三曹は、「この話は何度も納得のいくまで練習する。メンバーのみんなと同じです。何度も何度も練習をしてやっとな演奏会を成功させることができるんです」。

このように、国防と音楽のそれぞれのプロ精神（職人気質を相乗効果で高めていることは言うまでもないだろう。人には見えない地道な努力は人の心を打つ結果として現れる。

野戦特科き章の音楽隊

野戦特科隊員は弾先に全神経を集中させる。音楽隊のメンバーはその野戦特科隊員の精神を音楽という形に変えて音先に集中させる。

音楽隊のメンバーは、どんなときにも笑顔と絶えず穏和な雰囲気を出し出す。彼らのうちに秘めたる自信がそうさせるのだ。音楽を仕事として



第13代
第1特科団音楽隊長
2等陸曹
傳野博之

第十三代音楽隊長を命ぜられ約四ヶ月が経ちます。この間、中隊長をはじめ付幹部等の御指導をいただきながら演奏支援等を行ってきました。

音楽隊の特徴は、主特技の練度を維持しつつ演奏支援を行っていることです。八月十一日に実施された通信小隊訓練検閲に参加しその練度を確認しました。

音楽隊は、限られた時間の中で演奏技術の向上に努め、地域に密着した演奏支援を実施し市民と音楽を通じ親交を深め、愛される自衛隊として皆さんに喜んでいただける第一特科団音楽隊を目指し日々訓練に励んでおります。

今後とも、第一特科団音楽隊に対し皆さんの御理解・御支援そして御声援を宜しくお願いいたします。

音楽隊の
これまでの活動

千歳JAL国際マラソン支援（千歳市・6月）
あつま田舎まつり（厚真町・6月）
そうべつ福祉まつり（壮瞥町・7月）
花のおおたき涙流まつり（大滝村・7月）
びばい歌舞裸まつり（美瑛市・8月）
ファミリーコンサート（北部隊・8月）
その他、部内演奏支援多数



威風堂々のパレード
千歳JAL国際マラソン 6月5日



壮瞥町混声合唱団との共演
そうべつ福祉まつり 7月17日



華麗なるステージ演奏
びばい歌舞裸まつり 8月7日

第七十一戦車連隊

虻田町総合防災訓練に参加

第七十一戦車連隊(連隊長・徳田一佐)は、八月十一日に実施された虻田町防災訓練に参加した。胆振地方西部(室蘭市・伊達市・登別市・虻田町・壮瞥町・豊浦町・大滝村・洞爺村)を警備隊区に持つ連隊は、各自自治体の各種行事や防災訓練に積極的に参加している。今回は、第四戦車中隊(中隊長・澤田一尉)が担当する虻田町の防災訓練に第四戦車中隊長を核心とする十六名と車両十両(偵察警戒車、炊事車を含む)が参加し、実際の災害を想定した状況における町との相互調整及び避難者救出の連携要領について訓練しその実効性について確認した。

訓練には、長崎良夫虻田町長をはじめ約四百名の参加者があり、本管中隊の補給小隊と四中隊の隊員による炊事支援で参加者全員分のカレーライスを炊き出した。また、訓練終了後は偵察警戒車の体験格乗を町役場付近で実施し町民との親交を深め、連隊・中隊に対する信頼を獲得した。



配食は町民と共に



災害対策本部の模様



偵察警戒車展示の模様



視察の徳田連隊長も熱心に情報交換

いっしょ！日本一！ わんこそば大食い260杯

観測中隊(中隊長・森田三佐)にニューヒーローが誕生した！観測中隊には、綱引き同好会があり全道大会優勝さらには全国大会出場の実績がある。部外ユニークな大会に積極参加し好成績をあげている中隊に新たな分野の開拓者が誕生した。

三等陸曹・千広俊昌。有線通信陸曹・柔道二段・綱引き同好会所属・二三歳・彼女募集集中。彼は、わんこそばをなんと二六〇杯も食らってしまっ。第二陸曹教育隊の修了旅行で岩手県の花巻に行ったときのことだった。区隊のみならず、二に五〇杯ほどの差をつけ勝利した。店の人々も「これは日本一だ！」と絶賛！全国大会出場のシード権

- 北千歳駐屯地援護センターは、方面援護業務課から担任を命ぜられた七科目の部内技能訓練を終了しました。実施したのはフオークリフト運転士、小型移動式クレーン運転士、玉掛け
- 47名合格(二〇〇%)
- 二級ボイラー一技士
- 32名合格(八十二%)
- 残念ながら二級ボイラー一技士は、七名の不合格者発生となりましたが、
- フオークリフト運転士
- 52名合格(二〇〇%)
- 小型移動式クレーン運転士
- 47名合格(二〇〇%)



小型移動式クレーンの講習中の1コマ

九月の再挑戦に向け意欲満々でした。来年度以降も継続実施していきたいので、希望者はどんどんお申し込み下さい。

なお、私費による参加も受け付けます。細部は「援護かわら版」にご案内します。また、近隣駐屯地における各種技能取得講習等情報希望される方は遠慮なく駐屯地就職援護室までお電話下さい。電話309、大賀、小岩、佐藤がお待ちしております。



うれしい！「特別賞」



審査員席前の模様

第一特科団本部中隊(中隊長・竹嶋一尉)は、八月二十日に行われた千歳市民納涼盆踊り大会に総勢六五名で参加しました。審査員席前では元気よく掛け声をかけながら踊り多くの拍手を受けました。来賓として出席の駐屯地司令・安部将補も踊りに参加していただき中隊は勢いづきました。表彰式では、特別賞の受賞を皆で喜ぶとともに過ぎる夏を惜しむひとときとなりました。



安部駐屯地司令と一緒に楽しみました

を獲得したのだった。当然陸曹教育隊の成績も優秀！？だったが、わんこそば大食いの錦を飾って帰隊した千広三曹に諸手を挙げて喜んだのは森田中隊長だった。中隊長は、彼に来年二月に実施される全国大会出場の道をつけ、目標は「優勝」だと示した。彼は、現在厚生センター内「すずめや」さんの全面協力を得て胃袋拡張訓練を実施中である。

千広三曹の同期で団本中所属の鎌田三曹レポート

千広三曹は、最初から優勝を狙い、区隊の皆も誰かがそれを信じていました。最初は、皆意気込んで食べていたものの、徐々にペースが落ちても、千広三曹はまだまだ勢いがありまし



協力：すずめや食堂

わんこそば大食い全国大会出場決定



第301観測中隊
3等陸曹
千広俊昌
柔道二段
綱引き同好会所属
温厚で頼れる男

但し
食については
凶暴につき要警戒

第一特科団本部中隊

千歳市民納涼盆踊り大会参加

「特別賞」受賞！

53周年記念行事

来て、観て。

北部隊

9/4日 8:30~15:00

北千歳駐屯地開放

お問い合せ：陸上自衛隊第1特科団広報班 TEL 0123-23-2106(内線204)

第1特科団ホームページアドレス <http://www.nae.igsdf.go.jp/1ab/index.htm>

- 祝賀式
- 観閲行進
- 訓練展示
- 戦車・ゾープ等体験試乗
- おびっこ広場 など



指揮所内研修の様様

六月四日、北千歳駐屯地モニターの七名は第七師団が実施したACITEESCの研修を行いました。モニターの皆さんは見るもの聞くもの全てが初めてで指揮所内の大型スクリーンに映し出される戦場の映像を驚きと関心の声を発しながら研修してまいりました。研修後は駐屯地隊員食堂にて昼食をとり、北部隊厨房の味を堪能してまいりました。

駐屯地モニター ACITEESC研修



搭乗前の安全教育を受ける体験者

北千歳駐屯地は、八月六日駐屯地モニターをはじめ駐屯地に協力していただいている方々に対するヘリの体験搭乗を実施しました。この日は穏やかな晴天に恵まれ二十五名の体験搭乗者は支笏湖を周回する約二十分の飛行を楽しみました。

ヘリ体験搭乗 支笏湖を空から堪能



スタッフ一同お待ちしております！

「隊員クラブがおいしい！」そんな声が聞こえ始めて久しい今日この頃。普段、訓練等でストイックな生活をしている隊員にとって隊員クラブは、埃っぽい駐屯地であってオアシスのような存在だ。

防衛弘済会北千歳事業所の所長・青木誠氏は北部隊のOBで会の事務局局長も務める。氏は平成十五年十一月に所長に就任された。

「隊員クラブがおいしい！」そんな声が聞こえ始めて久しい今日この頃。普段、訓練等でストイックな生活をしている隊員にとって隊員クラブは、埃っぽい駐屯地であってオアシスのような存在だ。

防衛弘済会北千歳事業所の所長・青木誠氏は北部隊のOBで会の事務局局長も務める。氏は平成十五年十一月に所長に就任された。



看板娘の舞ちゃん

月に所長に就任後数々の改革を行い現在のシステムを作り上げた。料金後払い制やホールスタッフサービスは我々利用者にとってありがたいもの。当事業所は平成十六年度の弘済会会長賞を受賞している。青木所長は就任一年ほどで受賞されるこの隊員クラブ「樽前」とは如何ほどのものか。

入ってみるとなるほど八十名収容のホールは明るくすっきりと垢抜けしている。スタッフのみんなが明るく対応してくれる。ホールサービスでこのクラブの看板娘・舞ちゃんが注文をとる。何とも癒されるではないか。当クラブの自慢の手作りメニューも二人の調理師によって大変おいしく出来上がっている。奥の座敷は三十名収容できるもので落ち着いて宴会をしたいときに放題を二八〇〇円で開催しているらしい。酒種は問わず。あるものは飲める。料

隊員クラブ樽前

「隊員クラブがおいしい！」そんな声が聞こえ始めて久しい今日この頃。普段、訓練等でストイックな生活をしている隊員にとって隊員クラブは、埃っぽい駐屯地であってオアシスのような存在だ。

これまでは駐屯地に対する御理解と御尽力に深く感謝するとともに今後とも変わらぬ御厚情を賜りますようお願い申し上げます。

感謝状贈呈

六月十四日、防衛基盤の育成及び隊員の士気高揚による功績により駐屯地司令(前司令・山崎陸将補)から七名の方に感謝状が贈呈されました。贈呈された方の御芳名は以下の通りです。

伊藤信雄様
稲垣一夫様
青田亀吉様
中村恒臣様
八木橋廣様
菊地幸吉様
高田照子様

訂正とお詫び

前号「きたちとせ」五一号で菊地幸吉様のお名前が菊池となっておりまして誤りがあったことを深くお詫びいたします。



檜葉の木を植樹する隊員

駐屯地に檜葉の木二五〇本寄贈される

北千歳駐屯地に稲垣造園社長の稲垣一夫氏から檜葉の木二五〇本が寄贈され、駐屯地グラウンドや基本訓練場また駐屯地の周囲に植樹されました。駐屯地が益々緑濃くなりました。

会員募集中！

北千歳OB会では会員を募集しております。入会金千円・年会費千五百円。駐屯地援護室にて受付しております。会の活動も活発化しており、現職隊員との共同活動でより良い北千歳駐屯地にしていきます。これから退官予定の方、OBの方でまだ入会されてない方入会をお待ちしております。

大崎能永氏

(元第一地対艦ミサイル連隊)

栗原省吾氏

(元第一〇三特科大隊)

北千歳OB会 新入会者の紹介